

発行／社会福祉法人白根学園 発行責任者／三木 健太  
住所／横浜市旭区白根7-10-6 Tel.045-951-2669 Fax.045-951-7773



◆ホームページはこちら  
<http://www.shirane.or.jp>

9  
月号



2022年6月20日に就労センターのぞみ単体で令和4年度の創立記念会食会を開催致しました。例年通りの大々的な開催が難しいため、コロナ禍であるからこそお祝いの仕方を工夫し開催致しました。

中華会食ともいわれる会食会ですが、今年度は雰囲気をガラッと変え「イタリア」をテーマに開催場所の装飾、余興、メニューが「イタリア」一色となっています。装飾ではイタリアの景色などをポストカードにして利用者の方がそれぞれのかたちにカット、壁に貼り付け異空間に作り上げていきました。出来上がっていき「イタリアの風景」を楽しみに当日を迎えました。

余興ではソーシャルディスタンスを守りながらの職員によるフルート演奏会や映画「ローマの休日」をテーマにした「真実の口」を作製し恐る恐る手を差し込み盛り上りました。

また、利用者さんの記念写真用に「モナ・リザ」のフォトスポットも作製し顔をはめ込み楽しめていました。昼食のメニューでは手作りハンバーグをメインにチーズグラタン、ポテトキッシュ、サーモンの生春巻きと目でも楽しめる献立に皆さん舌鼓を打たれていました。

黙食が当たり前になっていますが、テンションの上がる美味しいメニューを表現するため「ボーノ！(美味しい！)」プラカードを作製し美味しい度に「ボーノ！」が上がってきました。大きな声を出さずに美味しい！が表現出来していました。令和4年度の創立記念会食会は食事、余興と沢山の笑顔が見られました。

一日でも早い収束を願うと共に、今後もコロナ禍と上手に付き合いながら利用者の方が楽しんで通所ができる事業所になりますよう努めて参ります。

社会就労センターのぞみ 湯場 一樹

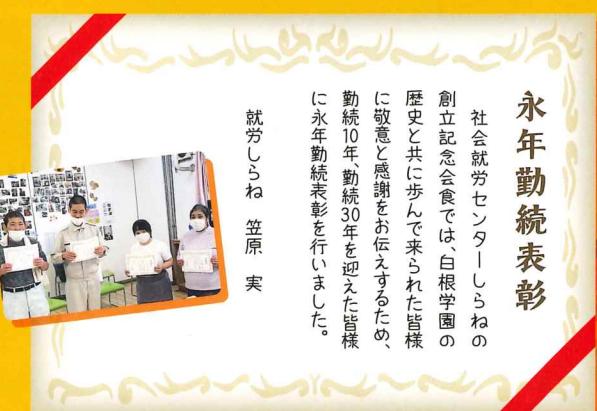


もくじ

[社会就労センターのぞみ]創立記念会食会  
[就労しらね]永年勤続表彰

[風の丘]七夕行事[麦の丘]新商品塩バターパン税込100円  
[光の丘]ミドルステイモデル事業について  
[光の丘]誕生日会、おやつ会について

- [希望]生活介護の延長が始まりました!  
[しらねの里・しらねの里・げんき]青空ランチ ..... ④ ⑤
- [ぶどうの実]夏休みが始まりました [法人本部]職員全体研修会が開催されました [ぶどうの実]係長研修会が開催されました ..... ⑥ ⑦
- [ぶどうの実 放課後等デイサービス]夏休みの様子  
[ホームズ]編集後記 ..... ⑧



就労しらね  
笠原 実

# 七夕行事



毎年7月7日は七夕の日という事で、風の丘では七夕の行事を利用者の皆さんで行いました。しらねの里からいただいた笹の葉に夢や願いを書いた短冊をたくさん飾り、立派にできあがった笹の葉を眺めながら、ジュースやお菓子をつまんで楽しいひと時を過ごしました。七夕は織姫と彦星が1年に1度だけ天の川で会える日。コロナ禍で利用者の皆さんも色々な人に会えなく寂しい事も多いと思いますが、コロナが早く収束して皆さんと会えるよう短冊に願いを込めた7月の七夕行事となりました。

風の丘 山岸 詠一

**麦の丘**

新商品 **税込100円**

**塩バターパン**

こむじ作ります！

この度、麦の丘のレギュラーメニューに新しい仲間が加わりました！試作を重ね、たどり着いた“シンプルイズベスト”的塩バターパン。中はもっちり、パン底はカリッと香ばしく、北海道産バターの豊かな香りがふわっと広がります。ちょっとぴりかかったヒマラヤの岩塩がアクセントとなっています。

どんな食事にも相性のいい麦の丘の自信作、ぜひご賞味ください。ご注文お待ちしています！

麦の丘 広橋 梓

# 光の丘 ミドルステイモデル事業 について

ミドルステイモデル事業は地域で生活する行動障害のある障害者様の支援方法を検討するため、二次相談支援機関としての専門性を発揮した相談支援の実施と、入所施設が実施する短期入所事業を連動させた横浜独自の取り組みになります。

実施機関は、光の丘・青葉メゾン・てらん広場・花みずきの4機関となっており、利用期間は6ヶ月以内で調整します。短期入所の枠を使った取り組みになりますのでその後のご本人の短期利用に支障がないような期間設定が必要になります。



## 本事業の利用には以下の4つの要件を満たしている事が必要です

1

障害特性による支援の困難性があり、  
対象者の見立て(障害特性、生活機能の評価)が必要

2

対象者を取りまく環境等の介入や  
調整が必要

3

支援者に区福祉保健センター及び  
基幹相談支援センターが含まれている

4

対象者及び家族が本事業の内容を理解し、  
利用について同意している

入所施設の専門性を活かしアセスメントを実施、その評価を地域の支援チームに引き継ぐことで、ご利用いただいた対象者様の今後の生活が豊かなものになるよう努力していく所存です。白根学園には光の丘の他にしらねの里、希望といった入所施設がありますので本事業の相談や情報共有等の連携を図っていきたいとも考えています。

皆様ご協力の程どうぞよろしくお願ひ致します。

光の丘相談室 上村 祐作

## 光の丘 誕生日会、 おやつ会について

光の丘では今年度より「誕生日会」と「おやつ会」の内容が変わっています。

誕生日会では、より利用者さんのお祝いが出来るように、喫茶ルーチェで開催し利用者さんに食べたいものを選んでいただきプレゼントをお渡しします。

おやつ会では、月に一度利用者さんみんなでお祝いの気持ちを込めて作業後にコーヒーと就労のぞみのクッキーを召し上がります。

当日は好きな飲み物を選び、誕生日を祝う歌を歌った後、ケーキを食べています。すぐに食べ終わってしまう人、ゆっくりと味わう人様々でしたが、皆さん一様に笑顔で過ごされていました。食べ終わった後は誕生日プレゼントの贈呈式。目をキラキラさせながら包装を開けていました。

光の丘 中村 仁

希望

# 生活介護の延長が始まりました!



今年度から希望では生活介護の延長支援が始まりました。昨年度まで希望の生活介護は15時まででしたが、希望する利用者さんは最大で17時30分まで延長利用が可能になりました。職員としては、15時から17時30分まで、利用者さんにのんびりと過ごしていただくよう心がけています。具体的には一緒に公園に出かける、プールで遊ぶ、ドライブに行く等しながら過ごしています。今年度から始まった取り組みなので手探り状態ではありますが、可能性は無限大だと考え、職員同士アイディアを出し合いながら支援に取り組んでいます。

保護者様にインタビューして  
このようご回答をいただきました

生活介護の延長があるため、  
お迎えの準備等を慌てて行わず  
に済んでいます。

保護者同士、地域の人同士  
で利用者さんの預かりを行っている場合もありますが、行政からの支援はありませんので金銭的な負担が大きいです。

金銭負担なく延長支援を行っていただき助かっています。

希望を利用した後に別の事業所（日中一時支援等）で預かってもらうこともできますが、送迎にも時間がかかることになります。保護者の負担減だけでなく、利用者さんの身体的な負担減にもなっています。

2つの事業所を利用した場合、役所で請求する手間も増えてしまうので、事務的な負担も減っています。

利用者さん、保護者様の体力的な負担減だけでなく、事務的な負担減、金銭的な負担減といったことにも貢献できているようです。

引き続き、実践を通じどのような支援ができるのか職員一同考えていきます。

希望 佐藤 毅



# 青空

しらねの里/  
しらねの里・げんき

ランチ



例年梅雨入りで雨になる事が多い青空ランチ。その為、今年は少し早めの6月3日に開催しました！

午前中は里とげんきに分かれて、おしゃれタイム♪ネイルシールやヘアセットをして皆さん一緒に華やかになりました！

そして気になる今年のランチ…テーマは「大人のお子様ランチ」です。昔懐かしさもありながら、おしゃれなプレート！お子様ランチと言えば、オムライスの上の旗ですね！今回は「里&げんき」のロゴマーク入りの旗を職員がこだわって作成しました！とろとろのオムライスやたこさんウインナー、エビフライにハンバーグ等、給食さんの工夫と努力のおかげで、ペーストやゼリー食の方にも楽しくて美味しいプレートになりました。

午後からは里とげんき合同で、里の園庭にケーキ屋さんをオープンして一緒にケーキバイキングを楽しみました。コロナウイルスの影響もあり、里とげんきが合同でイベントを開催したのは、なんと4年ぶり！久しぶりに、職員総出で、ありったけのテントを組み立てました！

感染症対策で、里とげんきでテーブルを分けての開催でしたが、久しぶりに会う利用者さん達がパーテーション越しに同じテーブルで食事を出来るブースもあり、みなさん大喜びでした！

途中、雷が鳴り、雨が降り始めるハプニングもありましたが、イベントを楽しんでいたら、いつの間にやら雷雨もおさまり、最後まで園庭で過ごす事が出来ました。

利用者さんの笑顔がとても輝いていた青空ランチとなりました。

しらねの里

文 世鉢

しらねの里・げんき 林 真由香



# 夏休みが 始まりました

ぶどうの実



ぶどうの実では、待ちに待った夏休みになりました。皆様は今年の夏はどのように過ごされましたでしょうか。今年もコロナ禍の為、様々な制限が強いられた中ではありました幸いにも利用者さんにコロナ感染者が出る事なくほぼ予定通りイベントを実施する事が出来、職員も一安心です。利用者さんもイベントに参加する際には楽しむだけでなく準備・片付けを手伝ってくれる方もおり成長した場面を沢山見せてくれました。

夏休みのメインイベントは日帰りではありましたが2019年を最後に実施出来ていなかった夏休み旅行に行けた事でした。今回の夏休み旅行は利用者さんの希望をヒアリングし【みなどみらい】【日光】【マザー牧場】【江の島】の4グループに行き先を分け普段行けない遠方まで足を運ぶ事が出来ました。今回の旅行でぶどうの実に入所後一度も旅行に行けず高校3年生を迎えた利用者さんもあり、日帰り旅行に連れて行けた事は職員としてとても嬉しかったです。

他にも感染予防をした上で夏祭り・カラオケ・花火・調理・水遊び・ドライブ等の楽しいイベント満載の夏休みでした。

# 職員全体研修会が開催されました

法人本部

6月29日(水)にさぽーと俱楽部主催の職員全体研修会が開催されました。講師は、筑波大学大学院人間系教授の小澤温先生でした。研修テーマは「知的障害者の意思決定支援の在り方」です。当日は、「希望」のリモートを含む約50名の職員が参加しました。

障害福祉の動向や意思決定支援ガイドラインの考え方から始まり、日々利用者支援を行う中での課題や意識することなど事例も含め分かりやすい視点で研修していただきました。

研修後のアンケートでも「説得的コミュニケーションやリスクコミュニケーションについて自分の支援を振り返る機会になった。」「自身の支援について考えさせられる研修となり、今後の支援に活かしたい。」など多数の意見が寄せられました。

小澤先生、貴重な講義ありがとうございました。

法人本部 企画部 川北 敏晴



## 係長研修会が開催されました

ぶどうの実

6月の係長会では、法人本部の川北部長による福祉事業経営についての研修が開催されました。研修テーマは“福祉事業経営について思うこと～我々は、社会資源として機能できているのか～”という事で、白根学園全事業所の経営状況や細かい収支の流れを改めて振り返ることができました。その中で一番大切な事として感じたのは、支援に偏りすぎても経営に偏りすぎても事業所としてのバランスを崩してしまうという事です。バランスが崩れると、偏った事業経営により職員が疲弊している実態もあると感じています。

一方でバランスよく運営するにはどうしたらいいのか。私自身今年度係長になったばかりではありますが、経営という観点で仕事に取り組む事が少なかった為、とても考えさせられる研修でした。また白根学園以外の法人でも同様の課題を抱えている法人は多くあるかと思います。

それにより障害者虐待にも繋がっているケースもあるのではないかでしょうか。“いつ同じことが起きても不思議ではない”そう感じると他人事のようにニュースを見ていられないと危機感を感じました。

経営と支援力を両立する為に。今回の研修を踏まえ福祉事業所が社会資源として円滑に機能する為に、バランスの良い運営と柔軟性を持った考えで白根学園をさらに発展していくらうと思います。

ぶどうの実 石丸 恵莉子

ぶどうの実 放課後等デイサービス

# 夏休みの様子



ぶどうの実放課後等デイサービスでは去年、新型コロナウイルスの影響で夏休み活動休止がありました。今年の夏休みは、潮干狩り、水遊びのできる公園、調理でクレープやかき氷作り、ぶどうの実での水遊びや各曜日のお楽しみ外出で新江ノ島水族館、みなとみらい、相模原麻溝公園等に行き、暑さに負けず、楽しく活動しています。

まだまだ、制限がある中での活動の為、外出のお昼は、外食ではなく、デリバリーで好きなメニューを注文し、ぶどうの実内で少人数に分かれて食事をするなど、感染対策を行いながら、できる範囲で、イベントや課外活動を行っています。

早くコロナが収束をしてマスクを外して、みんなで楽しく活動ができる日を心待ちにしています。

ぶどうの実 放課後等デイサービス 河野 隼人

## 編集 後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆さんはどうな秋を堪能したいですか。急にコロナが流行し始めて、もう2年半。色々と制限があったりして、なかなか以前のような生活に戻れず、何だかやきもきしてしまいますね。

私は、今年度、『入職して“初”の広報委員!』となり、急に『副委員長!』、と大役がふってきてとても驚いています。いつも見るのを楽しみにしていた広報誌が更にいいものになるよう、『学びの秋』に今年はすることにして、9月以降も頑張っていきたいと思います。

ホームズ 松田 美優